



かなを
ひらがなで
書いてみよう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 養蚕の歴史を新聞にまとめる。
- 2 木に穴を開ける。
- 3 絹のようななめらかさ。
- 4 我を忘れて大声でさげる。
- 5 親から子へ遺伝する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 あまおとが楽しげに響く。
- 2 しゅどうでブレーキをかける。
- 3 りよつか運動に参加する。
- 4 マラソン大会でかんそうする。
- 5 きょうつうしていることを探^{さぐ}す。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「養」は「養成」と同じ読みだよ。「蚕」は、「そ〇」と音読みするよ。
- 2 「穴」を開けるときは、きりやドリルを使うね。
- 3 英語では「シルク」と言うよ。
- 4 「わたしたち」のことを「我々」と言うよ。
- 5 「遺伝」とは、「親のもっている特質が、その子孫に伝わること」だよ。
- 二 1 「あめ」がふる「おと」のことだよ。
- 2 「で」で「うごかすこと」だよ。
- 3 「りよつか運動」は、「草木を植えて、みどりの土地を増やす運動」のことだよ。
- 4 「かんそう」は、「最後まではしりきること」だよ。
- 5 「きょう」は「男女きょう学」、「つう」は「交つう」と同じ漢字だよ。



分がはいてまは
へんを直すよ。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 私腹を肥やすのはよくない。
- 2 水分を吸収する。
- 3 砂糖にアリが集まる。
- 4 安全を保障する。
- 5 力を発揮する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 詩をあんしようする。
- 2 雨でも試合をぞつこうする。
- 3 午後七時にゆうはんを食べる。
- 4 本のふろくが気に入る。
- 5 こなぐすりを飲む。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「私腹を肥やす」は「立場を悪用して自分の利益をふやすこと」だよ。
- 2 「吸」は「呼吸」、「収」は「収入」と同じ読みだよ。
- 3 「砂糖」はあまいよ。
- 4 同じ読みをするものに「保証」があるよ。
- 5 「発」は「発見」、「揮」は「指揮」と同じ読みだよ。
- 二 1 「あん」の訓読みは「くら(い)」、「しよう」の訓読みは「とな(える)」だよ。
- 2 「ぞつこう」は、「つづけておこなうこと」だよ。
- 3 「ゆうはん」は、「ゆうがたに食べるはん」だよ。
- 4 買ったものに「ふろく」がついていると、得した気分になるね。
- 5 「こな」は「米(こめくん)」と「分」を組み合わせるよ。

分からなかったところは
くり返しするといよ。



分からないうまほ
〈ヒント〉を真まろ。

第 学 年 組 番 名 前

Ⅰ 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 児童会の役員に就任する。
- 2 後ろ姿を見ただけで A 先生だと分かる。
- 3 聖火リレーが行われる。
- 4 数人の話を一度に聞くのは至難の技だ。
- 5 対策を練る。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 妹とほちようを合わせる。
- 2 よくしつのそうじをする。
- 3 教科書のれいだいを解く。
- 4 じつえんを見て関心をもつ。
- 5 かいせいの中で運動会が開かれる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- Ⅰ 1 「就」は「就職」、「任」は「任命」と同じ読みだよ。
- 2 「姿」には、「物の形」という意味があつて、「富士山の美しい姿」という言い方をするよ。
- 3 「火」は「ひ」と読んではいけないよ。
- 4 「至」は「至意」と同じ読みだよ。
- 5 「テスト対策」という言葉があるよね。
- Ⅱ 1 「ほちよう」は、「あるくときのちようし」だよ。
- 2 「よくしつ」は「ふる場」のことだよ。「よく」は「あ（ひる）」という漢字だよ。
- 3 「れい」は「にんぐん」と「列」を組み合わせるよ。
- 4 「じつえん」は、「じつとえん」だよ。
- 5 雲がなく、すつまりとはれわたることだよ。



ひらがなを
いっしょに書こう。

第 学年 組 番 名前

Ⅰ 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

1 人前で歌うには度胸が必要だ。

2 布を裁断する。

3 泉のように新しい案がわき出る。

4 安全装置を備える。

5 来ひんを警護する。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

1 水がぎやくりゆうする。

2 コントロールへもうしこむ。

3 中庭に大木がうえられている。

4 しんやに窓を開けて星を見る。

5 体をそらしてボールをよける。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

Ⅰ 1 「度胸」は、「物事に動じない強い気持ち」だよ。

2 「裁」は「裁判」と、「断」は「決断」と同じ読みだよ。

3 「泉」は、「地中から自然に水がわき出る場所やその水」だよ。

4 「装」は「装着」と、「置」は「配置」と同じ読みだよ。

5 「警」は「警察」と、「護」は「保護」と同じ読みだよ。

Ⅱ 1 「ぎやく」の部首は「しんによう（しんにゆう）」、「りゆう」の部首は「さんすい」だよ。

2 「暑中お見まいもうしあげます」と同じ漢字だよ。

3 「木」と「直」の組み合わせだよ。

4 「しん」の訓読みは「ふか（い）」、「や」の訓読みは「よる」だよ。

5 「そ（らす）」は「はんたい」の「はん」と同じ漢字だよ。



かなをひいて
へんごを直す。

第 学年 組 番 名前

Ⅰ 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 針に糸を通す。
- 2 文書に署名する。
- 3 宅配便を受け取る。
- 4 欠点を補う努力する。
- 5 山盛りにする。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 しやこのある家。
- 2 列のせんとらに立つ。
- 3 どうあん用紙に正しく書く。
- 4 トンネルがかいつうする。
- 5 検定試験にうかる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- Ⅰ 1 糸通しを使うと、簡単に針に糸を通すことができるよ。
- 2 「署」は「消防署」と同じ読みだよ。
- 3 「宅配便」を使うと、自宅や指定した届け先に物を届けてくれるよ。
- 4 「不足しているところを補うこと」を「補足」と言うよ。
- 5 「大盛り」と同じ読みだよ。
- Ⅱ 1 「しや」の訓読みは「くるま」だよ。「こ」の漢字にも「くるま」が入るよ。
- 2 「せん」の訓読みは「せま」、「とら」の訓読みは「あたま」だよ。
- 3 「どうあん」は「こた(え)」のことだよ。
- 4 「かいつう」は、「道路や鉄道などが完成してつうじること」だよ。
- 5 「試験をうける」と同じ漢字だよ。



かなはらうきま
へいとうをまよ。

第 学 年 組 番 名 前

Ⅰ 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 様々なサイクリングコースが存在する。
- 2 意欲をもって取り組む。
- 3 お店が臨時休業になる。
- 4 税金を納める。
- 5 悲しい出来事に心を痛める。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 傷口をしょうどくする。
- 2 しめ切りに間に合うようにそくたつで送る。
- 3 座席をしていする。
- 4 たいとうな関係を築く。
- 5 校長先生とのめんせつに臨む。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- Ⅰ 1 「存」は「存続」と、「在」は「現在」と同じ読みだよ。
- 2 「意」は「意見」と、「欲」は「食欲」と同じ読みだよ。
- 3 「臨時休業」は、「予定していなかった休み（定休日以外の休み）のこと」だよ。
- 4 「修める」「収める」「治める」と同じ読みだよ。
- 5 けがをすると「痛い」よね。
- Ⅱ 1 「しょうどく」は「どくをけすこと」だよ。
- 2 「そくたつ」は、ふつうの郵便よりも早くはいたつすることができるよ。
- 3 「し」の訓読みは「ゆび」、「てい」の訓読みは「きた（める）」だよ。
- 4 「たいとう」は、「たがいに差がない状態のこと」だよ。
- 5 「めん」は「くいめん」と、「せつ」は「せつぞく」と同じ漢字だよ。



かなをひらかな
ていねいに書きます。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 目的地までの電車の運賃を調べる。
- 2 飛行機を操縦する。
- 3 多くの宗派がある。
- 4 若葉がしげる。
- 5 寒暖の差が激しい。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 さいきんのできごとを話す。
- 2 級友の意見をさんこうにする。
- 3 役員をじにんする。
- 4 しょくどうでご飯を食べる。
- 5 しょうとう時間を決める。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「運」は「運転」と、「賃」は「賃金」と同じ読みだよ。
- 2 「操」は「操作」と、「縦」は「縦断」と同じ読みだよ。
- 3 「宗派」と似た意味の言葉に「流派」があるよ。「宗」は「宗教」と同じ読みだよ。
- 4 「若」は「若者」と同じ読みだよ。
- 5 「寒」も「暖」も音読みだよ。反対の意味をもつ漢字の組み合わせだね。
- 二 1 「さいきん」は、「もつともちかい」ということだよ。
- 2 「さん」は「さんか」と同じ漢字だよ。
- 3 「じ」は「じたい」と、「にん」は「にんめい」と同じ漢字だよ。
- 4 「どう」は「正々どうどう」と同じ漢字だよ。
- 5 「しょう」の訓読みは「げ(す)」だよ。「とう」のつくり(右側)は「丁」だよ。



かなひらが
なを真ま。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 秋になると木々が紅葉する。
- 2 待ちに待った朗報が届く。
- 3 選挙で政党を選ぶ。
- 4 片側通行の道を走る。
- 5 肺の機能を高める。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 やさいをたくさん食べる。
- 2 夏休みにがっしゆくをする。
- 3 手紙をこうひようする。
- 4 商品のみほんを手に入れる。
- 5 勉強と遊びをりようりつする。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「紅」は「紅葉」、「葉」は「葉脈」と同じ読み方だよ。「もみじ」と読んではいけないよ。
- 2 「朗報」は、「よい知らせ」という意味だよ。「朗」は「郎」と似ていて、同じ読みだよ。
- 3 「政党」は「政治団体」のことだよ。「〇〇党」という名前を聞いたことがあるよね。
- 4 「片」は「片方」、「側」は「内側」と同じ読みだよ。
- 5 動物の呼吸方法に、「えら呼吸」や「肺呼吸」があるよ。
- 二 1 「なのはな」も「やさい」の一つだね。
- 2 「がっ」は「がっしょう」と、「しゆく」は「しゆくはく」と同じ漢字だよ。
- 3 「こうひよう」と似た意味の言葉に、「こうかい」があるよ。
- 4 「みほん」と「てほん」は「ほん」という同じ漢字を使うけど、意味がちがうよ。
- 5 「りようほうとも、しっかりとせいりつさせること」だよ。



かなはなまほ
へんと 読みま。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましよう。

- 1 ルールに従って行動する。
- 2 誠実な人がら。
- 3 地図の縮尺を変える。
- 4 光を反射する。
- 5 諸国を旅する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 象のはなは長い。
- 2 かつきの的な意見を述べる。
- 3 でんぼうが届く。
- 4 かいけい係が、お金を管理する。
- 5 月が出るほうがかくを調べる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「従う」の反対は「逆らう」だよ。
- 2 「誠」には、読みを表す「成」が入っているよ。
- 3 パソコンの画面で地図の縮尺を大きくして、愛媛県全体を見てみよう。
- 4 光だけではなく、熱や音も物の面に当たってはね返るよ。
- 5 「諸」は「諸君」、「国」は「国語」と同じ読みだよ。
- 二 1 「自」と「田」と「井」を組み合わせた字だよ。
- 2 「がきの」と読みまちがう人がいるよ。
- 3 お祝いの「でんぼう」を「しゆくでん」と言らよ。
- 4 「かいけい」は「お金や物の出入りを計算したり、管理をしたりすること」や「代金の支払はらい」を意味するよ。
- 5 「ほう」は「ほうこう」と、「かく」は「かど」と同じ漢字だよ。



かなをよむ
ていねい

第 学年 組 番 名前

Ⅰ 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 勉強を優先する。
- 2 潮が満ちる。
- 3 国の存亡がかかる。
- 4 乳牛の飼育をする。
- 5 開始時間一寸前に席に着く。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 いつもつよがりを言う。
- 2 ようちゆうからさなぎになる。
- 3 かつきのある話し合いが行われる。
- 4 個人戦でしゆいに立つ。
- 5 はいしよくを考えてぬる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- Ⅰ-1 「優」は「優秀」、「先」は「先生」と同じ読みだよ。
- Ⅰ-2 「ちよう」と読んではいけないよ。
- Ⅰ-3 「存亡」は、「存在し続けるかほろびるかということ」だよ。
- Ⅰ-4 「牛乳」と字の順番が逆になっているけれど、それぞれの読みは変わらないよ。
- Ⅰ-5 「一寸先はやみ」という言葉があるよ。
- Ⅱ-1 部首は「冫(ゆみへん)」だよ。
- Ⅱ-2 まだおさないむしのことだよ。
- Ⅱ-3 「かつ」は「せいかつ」と同じ漢字だよ。つまった音になっているよ。
- Ⅱ-4 「しゆ」の訓読みは「くび」、「い」の訓読みは「くらい」だよ。
- Ⅱ-5 「はい」は「はいち」と同じ漢字だよ。「しよく」の訓読みは「いる」だよ。